

平成 23 年 4 月

桑の木オーナーズ倶楽部会員募集

京都府綾部・福知山一帯は、明治から大正にかけて蚕都とよばれ、最大 3 万軒の養蚕農家を擁していました。しかし現在の京都ではわずかに 4 軒のみが福知山市に残るだけになっています。

塩野屋では平成 18 年 3 月より、農家と 5 年契約を結び、契約農家から繭を直接購入し、メーカーとして安心できる品質の高い絹材料の自主生産に踏み切りました。日本の養蚕を復活させなければ、本当の絹文化は消滅してしまう、と考えたからです。また絹文化の原点は農業にあるということも再認識しました。そこで、塩野屋では福知山市大呂村の農家と京都養蚕モデルの桑園の建設を目指し、平成 20 年 5 月に桑の苗木 1000 本を植え、桑の木オーナーの皆様と成長を現在まで見守ってまいりました。以来、丸 4 年が経過していますが、桑の木も大きく育っています。今年からは大呂の加藤さんも新規の養蚕農家として協力していただくことになりました。

また 6 月から皆様に提供する蚕飼育キットの桑の葉の供給源にも使用させてもらうことになっています。昨年 12 月に改めて 5 年契約を、新規養蚕農家を含め 4 軒の農家と結びました。今年にはさらに 200 本の苗木を新規養蚕農家の金谷さんが畑を借りて 3 月末に植えました。オーナーの皆様には 5 月から 9 月にかけての各養蚕農家見学ツアーのうちに、赤ちゃんの桑園も是非見ていただきたいと思っています。

塩野屋が推し進める養蚕復活のコンセプトは以下に記す通りです。

- ① 全齡葉の葉飼育と蚕種のオリジナル化
- ② 生繭での糸引き・真綿生産による材料の品質向上
- ③ 副産物の有効利用
- ④ 無化学飼育への移行

この 4 つの基本的コンセプトをもとに、日本の絹文化の維持発展を目指していきます。それとともに今年からはすべての製造工程で無肥料・無消毒・無化学を目指し、科学物質過敏症の方にも御使用いただける商品も開発する予定です。

そこで塩野屋の製品を愛用して下さる皆様にも、桑の木のオーナーとして生産・消費サイクルの中に加わっていただきたいと思うのです。そこでは高品質商品の生産と消費のバランスを取りつつ、ユーザー＝オーナーの意見を反映したものの創りを実践していきたいと考えています。その中で仕組みが確立し、これまでにない絹文化を創出できることを目指して行きます。大呂村の桑園の桑の木は、ご協力いただいたオーナーのお客様の名前を明示した上で、大切に育てあげ、京都の養蚕方式で作出すプロトタイプとして製品化すると同時に、オーナーとなられたお客様に感謝するシンボルです。

塩野屋の考える絹についての方向性にご賛同下さり、桑の木オーナーズ倶楽部に入会していただいた方々には、桑の木 1 本につき 1 万円の年会費をお納めいただくだけで、それ以外の権利・義務は一切生じません。桑の木の管理や蚕の飼育は塩野屋が責任をもって行います。また会員の

皆様には、絹に関する最新情報をお伝えするとともに、1年間有効の特典がございます。

〈特典〉

- ① 入会時に都浅黄生繭のハンドタオル(5,000円相当)をプレゼントいたします。このタオルは成木の桑の木1本から飼育した約100頭の繭で作ることができる50cmの長さになる浄肌衣です。
- ② 直接購入される場合、塩野屋の商品を1割引きで購入できます(入会時より1年間)。また会員だけの購買プランや新企画を案内し、別誂え受注も致します。
- ③ 副産物から開発した新商品などは、モニター販売や会員限定販売で購入できます(繭水化粧品・桑の葉茶・蚕沙まくら・蛹入り石鹸など)
- ④ 会員参加のイベントや懇親会の企画案内を致し優先的に割引価格で参加して頂けます。
- ⑤ 再度オーナーの継続をしていただくお願いも、随時ご連絡いたします。

*その他、桑の木オーナーさまへのお便りは、入会后ご迷惑で無ければ終生ご案内いたします。

一口一万円(生繭タオル付き) 特典:塩野屋商品購入時1割引(1年間)・イベント優先参加

振込先:三菱東京UFJ銀行・西陣支店・普通・1095105 塩野屋まで

送付先:京都市上京区千本通一条下ル西側西中筋町十三番地

電話 075-461-1995

FAX 075-461-1997

E-メール hanzo@shiono-ya.co.jp

URL <http://www.shiono-ya.co.jp/>

..... キリトリ線

< 桑の木オーナー参加お申込み用紙 >

申込日: 年 月 日

新規 or 継続 (○で囲んでください) 口数 株 万円

お名前: 男・女 才代

ご住所: 〒 ー

パソコンメールアドレス: @

携帯メールアドレス: @

自宅電話: FAX:

携帯電話:

プレゼントタオルのお好み ハードタイプ or ソフトタイプ (どちらかに○を)